
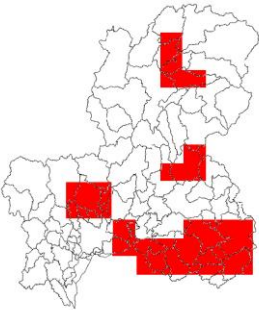


カザグルマ	<i>Clematis patens</i> C.Morren et Decne.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧)		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(加藤範夫)
形態の特徴	多年草で、落葉性の蔓生植物。茎は褐色で木化する。葉は羽状複葉、小葉は3-5枚、卵形で先は尖る。花期は5-6月。今年伸びた枝に1-3対の葉をつけ、1個の花を頂生する。花は径7-12cm、淡紫色または白色で、上向きに全開する。	
生態的特徴	丘陵地から山地にかけての林縁に生える。	 
分布状況	本州、四国、九州北部、朝鮮、中国(東北の南部)に分布する。県内では県南の中部・東部及び県北の中部にも生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の中部・東部及び県北の1地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良